

平成27年12月16日

各 位

会 社 名 カワセコンピュータサプライ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 川瀬 康平  
(コード：7851、東証第2部)  
問合せ先 最高財務責任者兼総務部長 梶山 伸夫  
(TEL. 06-6222-7474)

(訂正)「平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の  
一部訂正について

当社は、平成25年2月13日に発表した表記開示資料について一部訂正をいたしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 訂正の理由

平成28年3月期第2四半期において、営業取引の一部に不明瞭な取引が発覚し、当社と利害関係者を有しない社外の専門家で構成される第三者委員会を設置し、調査を行い、平成27年12月7日付で第三者委員会からの調査報告書を受領いたしました。

当該第三者調査委員会による調査を行った結果、訂正すべき内容が判明いたしましたので、当該訂正を行うものであります。

なお、訂正箇所には\_を付して表示してあります。

2. 訂正の内容

「平成25年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」

1. サマリー情報

(1) 経営成績(累計)

<訂正前>

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	<u>2,452</u>	<u>△6.3</u>	<u>△14</u>	—	6	△86.8	△1	—
24年3月期第3四半期	<u>2,618</u>	<u>6.6</u>	<u>23</u>	—	50	—	29	—

<訂正後>

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	<u>2,405</u>	<u>△7.4</u>	<u>△23</u>	—	6	△86.8	△1	—
24年3月期第3四半期	<u>2,596</u>	<u>6.4</u>	<u>20</u>	—	50	—	29	—

## 2. 添付資料

### 「1. 当四半期決算に関する定性的情報」

#### (1) 経営成績に関する定性的情報

##### <訂正前>

しかしながら、取り巻く環境は予想以上に悪く、売上高は 2,452 百万円（前年同期は 2,618 百万円）、経常利益は 6 百万円（前年同期は 50 百万円）、四半期純損失は 1 百万円（前年同期は 29 百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

##### ① ビジネスフォーム事業

景気の低迷による総需要量の減少及び価格競争の激化の影響はありましたものの、既存取引先への深耕活動等により売上高は、前年水準の 1,681 百万円（前年同期は 1,685 百万円）となりました。セグメント利益は 189 百万円（前年同期は 129 百万円）となりました。

##### ② 情報処理事業

幅広く新規案件獲得に向け活動を行いました。金融関連の総需要量の減少並びに電子化の進行の影響により売上高は、前年同期と比べ 162 百万円減少し 770 百万円（前年同期は 932 百万円）となりました。セグメント利益につきましては、新規案件に対応するために費用を要したこともあり前年同期と比べ 114 百万円減少し、48 百万円（前年同期は 163 百万円）となりました。

##### <訂正後>

しかしながら、取り巻く環境は予想以上に悪く、売上高は 2,405 百万円（前年同期は 2,596 百万円）、経常利益は 6 百万円（前年同期は 50 百万円）、四半期純損失は 1 百万円（前年同期は 29 百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

##### ① ビジネスフォーム事業

景気の低迷による総需要量の減少及び価格競争の激化の影響はありましたものの、既存取引先への深耕活動等により売上高は、前年水準の 1,655 百万円（前年同期は 1,685 百万円）となりました。セグメント利益は 182 百万円（前年同期は 128 百万円）となりました。

##### ② 情報処理事業

幅広く新規案件獲得に向け活動を行いました。金融関連の総需要量の減少並びに電子化の進行の影響により売上高は、前年同期と比べ 161 百万円減少し 749 百万円（前年同期は 910 百万円）となりました。セグメント利益につきましては、新規案件に対応するために費用を要したこともあり前年同期と比べ 113 百万円減少し、46 百万円（前年同期は 160 百万円）となりました。

「2. 四半期財務諸表」  
 (2) 四半期損益計算書  
 第3四半期累計期間  
 <訂正前>

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,618,566	2,452,058
売上原価	1,949,787	1,816,280
売上総利益	668,779	635,778
販売費及び一般管理費	644,887	650,273
営業利益又は営業損失(△)	23,892	△14,495
営業外収益		
受取利息	811	182
受取配当金	3,597	4,913
助成金収入	30,282	13,821
その他	12,501	12,723
営業外収益合計	47,193	31,641

<訂正後>

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,596,687	2,405,187
売上原価	1,931,777	1,778,308
売上総利益	664,910	626,879
販売費及び一般管理費	644,887	650,273
営業利益又は営業損失(△)	20,023	△23,394
営業外収益		
受取利息	811	182
受取配当金	3,597	4,913
助成金収入	30,282	13,821
<u>循環取引等差益</u>	3,868	8,899
その他	12,501	12,723
営業外収益合計	51,062	40,540

## (4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

&lt;訂正前&gt;

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	ビジネスフ ォーム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,685,825	932,741	2,618,566	—	2,618,566
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,685,825	932,741	2,618,566	—	2,618,566
セグメント利益	129,020	163,439	292,460	△268,568	23,892

&lt;訂正後&gt;

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	ビジネスフ ォーム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,685,825	910,862	2,596,687	—	2,596,687
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,685,825	910,862	2,596,687	—	2,596,687
セグメント利益	128,314	160,277	288,591	△268,568	20,023

II 当第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

&lt;訂正前&gt;

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	ビジネスフ ォーム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,681,393	770,665	2,452,058	—	2,452,058
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,681,393	770,665	2,452,058	—	2,452,058
セグメント利益又は損失 (△)	189,524	48,623	238,148	△252,643	△14,495

<訂正後>

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	ビジネスフ ォーム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	<u>1,655,830</u>	<u>749,356</u>	<u>2,405,187</u>	—	<u>2,405,187</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	<u>1,655,830</u>	<u>749,356</u>	<u>2,405,187</u>	—	<u>2,405,187</u>
セグメント利益又は損失 (△)	<u>182,306</u>	<u>46,942</u>	<u>229,249</u>	△252,643	<u>△23,394</u>

以 上